

志乃ちゃんは 自分の名前が 言えない

伝わらなくてもいい。
伝えたいと思った――。
言葉が上手く話せない志乃、音痴な加代。
不器用な二人の傷だらけでまぶしい日々。

南 沙良 蒔田彩珠

萩原利久

小柳まいか 池田朱那 柿本朱里 中田美優 / 蒼波 純 / 渡辺 哲

山田キヌヲ 奥貫 薫

監督:湯浅弘章

原作:押見修造「志乃ちゃんは自分の名前が言えない」(太田出版)

脚本:足立 紳(『百円の恋』) 音楽:まつきあゆむ

製作:安井翔好 崔相基 二宮清隆 鷺見真彦 プロデューサー:田坂公章 伊達 聡 音楽プロデューサー:藤川 聡
ラインプロデューサー:小橋秀之 撮影:今村圭佑 照明:平山遼弥 録音:池田雅樹 装飾:前原敬章 衣装:松本 美
ヘアメイク:榎本申二 助監督:松浦健志 制作担当:村上麻里子 吃音監修:富貴周太
挿入歌:「あの素晴らしい愛をもう一度」「愛をください」「世界の終わり」「青空」
制作プロダクション:東北新社 配給:ビターズ・エンド
「志乃ちゃんは自分の名前が言えない」製作委員会:
日本出版販売 カルチュア・エンタテインメント 東北新社 ベンチマーク・パブリッシング

2017年/日本/カラー/シネスコ/5.1ch/110分

©押見修造/太田出版 ©2017志乃ちゃんは自分の名前が言えない製作委員会

www.bitters.co.jp/shinochan/



10月3日(木)
上映!

全世代が共鳴した押見修造の人気コミック、待望の映画化!



漫画を超えて、広く心に届く作品を作っていただいたことに感謝します。

——押見修造 (原作)

高校一年生の志乃は、喋ろうとするたび言葉に詰まり、名前すら上手く言うことが出来ず笑い者になってしまう。ひとりぼっちの高校生活を送る志乃は、ひょんなことから同級生の加代と友達になる。ギターが生きがいなのに音痴な加代は、思いがけず聴いた志乃の歌声に心を奪われ、バンドに誘う。文化祭に向けて不器用なふたりの猛練習が始まった。コンプレックスから目を背け、人との関りを避けてきた志乃と加代。

互いに手を取り小さな一歩を踏み出すが——。

あの頃、誰もが抱いた苦悩や葛藤。戻れないからこそ現在を照らしてくれる、つたなくて、いとおしい日々。

胸を打つラストに涙溢れる、傷だらけでまぶしい青春映画の傑作が誕生した!



全世代が感動、共鳴した! 押見修造・人気コミック待望の映画化

気鋭監督・湯浅弘章×脚本・足立紳(『百円の恋』)が瑞々しく繊細に描く

思春期の少年少女をモチーフに、独創的な作風で「悪の華」「ぼくは麻理のなか」等の傑作を生みだしてきた人気漫画家・押見修造。自身の体験をもとに描いた代表作「志乃ちゃんは自分の名前が言えない」は、発表と同時に幅広い世代の読者を感動の渦に包み、大きな反響を呼んだ。待望の映画化でメガホンをとったのは、本作で長編商業映画デビューを果たす気鋭・湯浅弘章。脚本を『百円の恋』で日本アカデミー賞最優秀脚本賞など数々の賞に輝いた足立紳が務め、瑞々しい映像と繊細な脚本で十代の揺れ動く心の機微を映し出す。また、物語の舞台となる90年代の音楽シーンをリードした、ザ・ブルーハーツ、ミッシェル・ガン・エレファントなどの楽曲も登場、物語をエモーショナルに彩る。



注目を集める十代の実力派女優
南沙良×蒔田彩珠 ダブル主演!

本作では、次世代を担う同年代の実力派二人が主演を務める。志乃を演じるのは、現役モデルにして「幼な子われらに生まれ」に出演、女優としても注目を集める新星、南沙良。加代を「三度目の殺人」やドラマ「anone」などでの高い演技力が記憶に新しい、蒔田彩珠が熱演。思春期まっただ中のふたりが観る者の心震わす体当たりの演技をみせる。更に、志乃と加代の同級生・菊地を「帝一の國」「あゝ、荒野」と話題作への出演が続く萩原利久が演じるほか、奥貫薫、山田キヌヲ、渡辺哲ら、ベテラン俳優陣が脇を固めている。

志乃ちゃんは
自分の名前が
言えない

監督:湯浅弘章 原作:押見修造「志乃ちゃんは自分の名前が言えない」(太田出版) 脚本:足立紳 音楽:まつあゆむ 出演:南沙良 蒔田彩珠/萩原利久/山田キヌヲ 奥貫薫 配給:ピターズ・エンド 制作プロダクション:東北新社
製作:「志乃ちゃんは自分の名前が言えない」製作委員会(日本出版販売 カルチュア・エンタテインメント 東北新社 ベンチャーバンク) 2017年/日本/カラー/シネスコ/51ch/110分 ©押見修造/太田出版 ©2017志乃ちゃんは自分の名前が言えない製作委員会
<http://www.bitters.co.jp/shinochan/> fb.com/shinochan.movie/ [@shinochan_movie](https://twitter.com/shinochan_movie) 厚生労働省社会保険審議会推薦 児童福祉文化財

映画「志乃ちゃんは自分の名前が言えない」土佐清水市上映会

令和元年 10月3日(木)

①午後1時30分～3時20分
②午後6時30分～8時20分

(110分作品)

土佐清水市立市民文化会館

※聴覚障害者用日本語字幕付上映です。

入場無料

主催:土佐清水市 (お問い合わせ)土佐清水市じんけん課 0880-82-1124